



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第5号
令和元年9月14日
校長 松丸 晴美

「ユニバーサルデザインとの出会い」

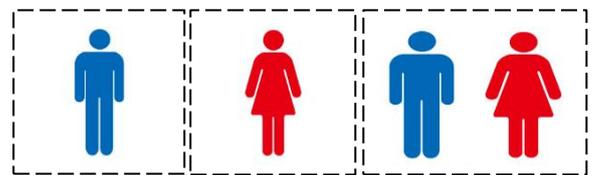
関東を直撃した台風15号は去りましたが、猛烈な暑さが戻ってきました。夏休み中は、熱中症を予防する指数WBGTが非常に高く危険な日もあり、余儀なく部活動の中止や活動内容を変更をしたこともありました。おかげで重篤な熱中症になる生徒もいませんでした。始業式の9月2日(月)には、部活動や臨海学校、ボランティア活動などに参加したことにより、少し成長した生徒の姿に接し、うれしく思いました。

夏休みは、私もテレビや新聞をじっくり見たり、旅行に出掛けるなどして見聞を広げ、今まで知らなかったことを体験を通して学ぶことができました。その1つが「ユニバーサルデザイン」です。障害の有無や年齢・性別によらずできるだけ多くの人々が利用しやすいように工夫された製品や環境などのデザインのこと、「ピクトグラム(案内図記号)」もそのひとつです。

1964年、東京オリンピックで来日する外国人に向けて考案され、使用されたこのピクトグラムは、今や世界中に広まっています。旅行が趣味の私は、そのおかげで、国内だけではなく海外のどこの空港や駅に行っても「トイレ」を容易に探すことができました。

でも、今年はちょっと事情が違いました。コペンハーゲンの空港で、いつものようにピクトグラムを目印に探して入ったトイレ。用をすまして個室のドアを開け外へ出た私の目の前には、なんと男性がいたのです。びっくりして手も洗わず、あわてて飛び出し、「男性トイレと間違えるなんて!」と恥じ入りながら急ぎ足でその場を離れました。少し進ん

だ所にまたトイレがありました。今度はしっかり絵を確認して入り、中にいる人が女性であることにほっとしながら先ほど洗い損ねた手をしっかり洗いました。しかし、誤って男性トイレに入ってしまったことが釈然としなかったのもう一度絵を確かめに戻ったところ「なるほど!」と納得しました。



(3か所のピクトグラムのイメージ)

実は、周辺にはトイレが3か所あり、最初に入ったのは「男女共用トイレ」、次に手を洗いに入ったのが「女性専用トイレ」でした。

日本では個室の「男女兼用トイレ」は飲食店などでは使用したことがありますが、空港や駅では見たことがありませんでした。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催まで300日余りとなりました。海外から来日する人たちの文化や生活様式は多様です。多くの人たちが戸惑うことなく利用できる環境づくりも日本の「おもてなし」のひとつだと思います。

2学期には、修学旅行や校外学習など、学校外で学ぶ機会がどの学年にもあります。本来の学習の目的に加え、「ユニバーサルデザイン」や「ピクトグラム」など、東京大会に向けて、日本が今どのように環境を変えつつあるのか、その様子にも関心を向けて、新たな学びのひとつにしてほしいと思います。

今学期も練馬区の連合行事や地域で活動する機会がたくさんあります。保護者や地域の皆様とともに、生徒たちの成長を見守っていきたく願っています。

7月27日(土)～7月30日(火)の三泊四日、千葉県岩井海岸にて臨海学校が実施されました。体育の授業や7月23日(火)～7月25日(木)に行われた事前練習では、バディの練習や隊列を組んだ海での泳ぎ方など、臨海学校に向けた練習をしました。また、学級委員の生徒たちは、臨海学校実行委員会として準備を進めてきました。「太陽の学年」にちなんで「助け合い 命と仲間の 良さを知り 海を enjoy 臨海学校」という「たいよう」のあいうえお作文でスローガンを考えました。同じ学年の仲間同士で助け合い、海での実習や係としての仕事に一生懸命に取り組む姿を、様々な場面で見ることができました。

<27日(1日目)>

バスに乗って宿舎へ向かう1日目の朝。昼食前には到着し、午後には浜で開校式を行い、海に入りました。臨海学校に向けてプールで練習を重ねてきましたが、大きな波が立ち潮の香りがする本物の「海」で、プールとの違いを実感しました。

<28日(2日目)>

午前と午後、二回に分けて海に入りました。次第に海で泳ぐことにも馴れ、たくさん泳ぐことができました。夜には、大遠泳・中遠泳・小遠泳に向けた隊列の確認を体育館で行いました。本番を想定して大きな声でバディを取って、3日目に備えました。また、臨海学校に参加できなかった生徒たちのサプライズ応援を聞いて、気持ちが高まりました。

<29日(3日目)>

大遠泳・中遠泳・小遠泳を行いました。長い隊列は真剣な表情で1列ずつ海に入っていく、隊形を崩さないように前後左右の仲間を見て、励ましあい、波の中を一生懸命に泳いでいました。泳ぎきって横断幕をくぐる瞬間、素晴らしい達成感を感じることができたことでしょうか。また、夜にはダンス大会を行いました。宿舎にいる時間の中で、クラスごとにダンスの練習を進めてきました。クラスの仲間で話し合い、試行錯誤を重ねて完成したダンスは、個性あふれる素敵なものばかりでした。

<30日(4日目)>

閉校式では、臨海学校で過ごした時間を振り返りました。海での実習や係の仕事などを通して、たくさんの成長を感じることができました。この4日間でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝え、帰りのバスに乗りました。

時間を意識して行動すること、周りへの気配りや思いやりをもって行動すること、目の前のことに真剣に取り組むこと。海での実習や係の仕事をやり遂げ、この臨海学校を通して学ぶことによって、一回りも二回りも成長することができたと思います。たくさんの仲間たちと助け合い、大きな海を泳ぎました。この臨海学校は、これからも忘れることのない素晴らしい経験となりました。



2019 ジュニアスポーツアジア交流大会に出場するジャカルタ（インドネシア）とバンコク（タイ）、マニラ（フィリピン）の選手団が学校訪問で本校を訪れました。この事業は、東京都と東京都スポーツ文化事業団が東京オリンピック・パラリンピックに向けて10年にわたって実施しているものです。アジアの選手たちは文化交流を大変楽しみにしており、ここで交流したことを自分の国に戻った際、本当に楽しそうに話しているそうです。当日は110名の西中生たちと、81名の選手団が日本の文化交流やスポーツ交流を楽しみました。



歓迎会では、吹奏楽部がセカイノオワリの「RPG」でお出迎え。3年生が引退し、初めての1・2年生での演奏でしたが、自然と手拍子が起こるなど盛り上がりを見せました。校長先生は、それぞれの都市の言葉で挨拶すると都市の選手たちは大きな声で挨拶。挨拶は、国をこえて人と人との関係を近づけてくれる魔法の言葉だと再確認しました。

体験では、昨年も大変好評であった浴衣の着付け体験と書道体験、バドミントン・卓球交流試合を行いました。浴衣の着付けでは、選手たちがお互いに写真を撮ったりして盛り上がりました。書道のコーナーでは、生徒たちが書道のやり方を示しながら、自分の名前を漢字で書き表す体験を行いました。書きあがった作品を大切に持っている選手の姿が印象的でした。

また、バドミントン部と卓球部は海外の強い選手と対戦するという貴重な経験もしました。卓球部には、ロンドンとリオデジャネイロパラリンピックのメダリストも来校し、盛り上がりを見せました。生徒はパラバドミントン、パラ卓球の選手とも対戦し、障害を乗り越え、スポーツを楽しむ人の姿に触れることができました。

その後、駒沢体育館で行われた大会にも観戦に行き、一緒に昼食を食べた生徒もいました。生徒の中には、「スポーツを通じて、国境を越えたつながりが出来て嬉しかった。言葉は通じなくても伝えようという気持ちがあれば大丈夫でした。とても楽しく、良い経験になった。」という意見もありました。アジアの選手たちにも生徒にとっても素晴らしい交流となりました。



美術部 夏休みの校外学習

顧問 志村美智子

7月26日（金）に2年生と Bunkamura ザミュージアム（渋谷）に「みんなのミュシャ」を鑑賞しに行きました。2年生が13名、参加しました。ミュージアムの中では、自由に写真を撮れるコーナーがあり、嬉しそうに写真を撮っていました。去年は台風で校外学習が中止になった2年生なので、今年は晴れて渋谷の街を元気に歩いていました。

1年生は12名の参加で、8月2日（金）に高尾山のトリックアート美術館に行ってきました。トリックアートは触ってよし、写真を撮ってよしで、作品と一体化できるので、楽しそうに美術館の中を練り歩き、帰り道ではくたくたになっていました。無料変身コーナーでは、みんなでドレスに着替え写真を撮りあっていました。

夏休み保育補助ボランティア

生涯学習部 坂林 瑠璃子

今年で4回目となった夏休みの保育補助ボランティア。3年前に、奉仕活動や国際理解学習を中心に行う委員会(JRC 委員会)を発足して以来、毎年『COBY プリスクールせきまち』の協力を得て、中学生に保育体験をさせていただいています。今年も36名の生徒が3日間に分かれて参加しました。0歳～5歳までのクラスに分かれて入り、一緒に遊んだり、食事の補助をしたり、お昼寝の間は保育士さんのお手伝いをしたりして過ごします。園児のパワーに負けないように、9時～16時まで一生懸命活動していました。



初めて保育補助ボランティアに参加して、先生方はとても優しく、園児はみんな元気でかわいかったです。1歳児を担当させていただいて、1歳の子はすごく自由で、いろんなことが起きて、体力も力も使うけどすごく楽しかったです。

生徒の感想より

■生徒の活動記録■

陸上部 ●第65回全日本中学校通信陸上競技大会東京都大会(7/27、28)

- 女子2年100m 第4位 12秒95 川崎 啓子
- 男子共通走高跳 第2位 1m73 佐藤 虹太郎
- 女子共通4×100m 第6位 51秒17 西田 麻沙、宮川 琴音、上田 彩月、川崎 啓子
- 第47回 関東中学校陸上競技大会(8/8)
- 男子共通走高跳 第7位 1m80 佐藤 虹太郎
- 第31回東京ジュニア陸上競技大会(9/8)
- 男子1年1500m 第6位 4分50秒00 毛利 亮太
- 男子3年走高跳 第1位 1m79 佐藤 虹太郎
- 女子2年100m 第1位 12秒76 川崎 啓子
- 女子3年200m 第4位 26秒49 上田 彩月
- 女子2年4×100m 第1位 51秒92 三浦 リオ、宮川 琴音、宮本 美桜、川崎 啓子

バスケットボール ●第65回クールカップバスケットボール大会(8/11)

- 女子 優勝 優秀選手賞 関川 寿音

バドミントン ●第72回練馬区民体育大会(8/19)

- 1部女子シングルス 準優勝 北川 暁子

卓球 ●第58回東京都中学校総合体育大会(7/26)

- 女子シングルス 第3位 川村 碧子 *関東大会に出場しました。

吹奏楽部 ●第59回東京都中学校吹奏楽部コンクール(8/9)

- B組 銀賞

テニス ●第45回第3ブロック新人テニス選手権大会(8/22)

- 女子シングルス 第1位 川田 鈴花

バレー ●第16回久留米カップ女子 第3位

柔道 ●第21回東京都中学校第3ブロック新人柔道大会

- 男子55kg級 第3位 山下 和之

